

《令和7年度 農業委員会事務局 組織目標達の成状況》

◆目標管理者
事務局長 相井 義博

主 令和7年度当初予算概要に掲載の事業に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和7年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	R7 主な事業	「施策」と「地域幸福度 (Well-Being) 指標」(主観) との関連	4. 課題解決に向けた令和7年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>農業従事者の減少と高齢化が進む中、一転、米価が上昇したものの資材高騰からその利益は打ち消され、かつ鳥獣被害等への抜本的な対策が見いだせないことから、生産意欲の減退に歯止めがかからず、耕作放棄地の増加が懸念されています。</p> <p>1 そのような中、昨年度、関係機関と地域による話し合いのもとで、地域計画(目標地図を含む)が策定されたところです。</p> <p>10年後の地域農業の設計図である「地域計画」をもとに、担い手等に対して、農地のさらなる集積・集約化を図り、農地の保全と、農業者の経営を安定化させる必要があります。</p>	<p>市が策定した「地域計画」および農業委員会が策定した「農地等の利用の最適化の推進に関する指針」に基づき、『遊休農地の解消』『担い手への農地利用集積』『新規参入の促進』にかかる課題の解決・解消に努めます。</p> <p>① また、令和4年2月に農林水産省から発出された「最適化活動のガイドライン」に基づき設定した「最適化活動の目標」にかかる、実施状況および目標達成状況について毎年度、点検・評価し、その結果を市HPに公表することにより、農業委員会活動の「見える化」に努めます。</p>	<p>【取組】 農地の出し手・受け手の意向を把握し、地域における話し合いに参加することで、『地域計画』において各地区で出された課題の解決に向け、農地利用集積に向けた取組を進めます。</p> <p>① 【成果目標】 農地利用集積・集約化を推進します。 ・農地利用集積面積 令和6年度 734ha ➡ 令和7年度 744ha +10ha ・集積率 令和6年度 66.2% ➡ 令和7年度 67.0% +0.8%ポイント (75% [令和15年3月目標値])</p> <p>【取組】 農業委員、最適化推進委員、関係機関が連携を図り、農地パトロールを実施します。</p> <p>② 【成果目標】 無断転用行為、耕作放棄地の発生防止、解消を推進します。 ・遊休農用地面積 令和6年度 4.0ha ➡ 令和7年度 3.0ha ▲ 1.0ha ・遊休農用地割合 令和6年度 0.35% ➡ 令和7年度 0.26% ▲ 0.09%ポイント (0ha [令和11年3月目標値])</p>	<p>分野: 農林水産 基本方針: 農業の振興 施策: 農地の保全と生産基盤の強化</p> <p>分野: 農林水産 基本方針: 農業の振興 施策: 農地の保全と生産基盤の強化</p>	<p>No.26</p> <p>No.26</p>	<p>No.26</p> <p>No.26</p>	<p>【取組実績】 地域計画策定に向けた地区毎に開催された話し合いに参加し、各地区の課題や、農地利用の集積・集約に対する取組について話し合いましたが、目標達成することはできませんでした。</p> <p>① 【成果目標実績】 ・農地利用集積面積 令和6年度 734ha ➡ 令和7年度 728ha ▲6ha ・集積率 令和6年度 66.2% ➡ 令和7年度 66.0% ▲0.2%ポイント (75% [令和15年3月目標値])</p> <p>【取組実績】 農地利用最適化推進委員が主となり、市農林水産課とともに農地パトロールを実施しました。 耕作放棄地の所有者に対しては、農地の適正な管理を指導するとともに、農地の貸し付けや作業委託について、助言や支援を行いました。 また、土地所有者の意向情報(売りたい・貸したい)を集め、窓口での閲覧や農林水産省のポータルサイトに明示する等、農地の利用促進を行いました。 ② 農業委員および農地利用最適化推進委員、事務局からの粘り強い指導等により、遊休農地は減少しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・遊休農用地面積 令和6年度 4.0ha ➡ 令和7年度 2.6ha ▲1.4ha ・遊休農用地割合 令和6年度 0.35% ➡ 令和7年度 0.23% ▲0.12%ポイント (0ha [令和9年3月目標値])</p>